



四小だより

いちょう

平成26年 5月20日号

山形市立第四小学校
校長 坂本 澄子

〒990-0055

山形市相生町4番37号

TEL 623-6019

FAX 633-9321

<児童数 190名>

みんなで創りあげる運動会で 大きな自信に

17日は、前日の風雨で心配された天候も子どもたちの熱い思いで見事に晴らし、絶好の運動会日和となりました。

結果は白組の完全優勝という形になりましたが、両組とも最後まで本気で戦うその姿に心を打たれました。いちょう運動会は、異なる学年の人と一緒にがんばることが求められます。私は、年齢も体の大きさも心のありようも違う1年生から6年生までと一緒に考え、力を合わせ、一つのことに取り組む。自分の気持ちをコントロールしながら見通しを持ってやり通すところに、人としての成長があると思っています。そういう願いを持って創られてきたいちょう運動会で、その願いにしっかり応えた子どもたち。今日までの学習で、着実に成長した一人ひとりの姿を見ることができて、とても嬉しくなりました。この経験を自信と誇りにして、これからの生活に活かして欲しいと思います。

地域の皆様、保護者の皆様には、早朝よりおいでいただき、子どもたちに温かい声援をおくっていただき誠にありがとうございました。



係の仕事に「誇り」と「責任」

運動会に向けての練習、準備も大詰めの前々日、砂でグラウンドが滑り、カーブが走りにくくなっていました。放課後、グラウンドキーパー係の子どもたちを見ると、全員竹ぼうきを持ち、コースの砂を取り除いています。マスクをつけてはいるものの、砂埃が舞い上がりたいへんな作業です。運動会でみんなが気持ちよく走れるように、自分たちが今やるべき仕事と自覚して一所懸命にやっています。黙々と取り組むその姿には使命感と誇りが感じられました。自立へむけて成長する姿をまた見ることができ、とても嬉しくなりました。



“当たり前前”のことを当たり前前にする”って素敵なこと！

先日、ちょっと嬉しいことがありました。それは、5/10(土)の夕方、四小学区の体育振興会議に出席するため、学校に車を置いて会場へ向かうときの出来事です。遠くから私だとわかって「校長先生こんにちは！」と笑顔で声をかけてくれた6年生。植木市の帰りでグラウンドで遊んでいくということでした。また少し行くと、今度は母親と一緒に1年生が「あっ、坂本澄子校長先生、こんにちは！」と笑顔で挨拶。とても爽やかな気持ちになりました。当たり前前のことだけど、こんなに自然に挨拶が交わせる四小の子どもって素敵なな、と思いました。

もう一ついいお話が続きます。湯殿山会館に行くと、会館脇の北側フェンスから、こちらに注ぐかわいい女の子の視線を感じました。私は、残念なことに、まだ全校児童の顔と名前が一致しません。てっきり四小の1年生と思い込んで「こんにちは」と挨拶すると、笑顔で「こんにちは」と返してくれました。18日の湯殿山神社例大祭で舞う稚児踊りの練習をしているとのこと。別れ際に名前を聞くと、「山一小1年のSです。」と答えたので、びっくりして私も四小の教員であることを告げ、いろいろ話してくれたことに礼を言いました。すると、膝をちょっと屈めて「どういたしまして」と切り返し。初めてあったとは思えない、温かいつながりにまた感動しました。きっと、このお子さんは、家庭で、地域で、幼稚園で、そして学校で、このような人との素敵な関わり方を身につけてきたのでしょう。四小でもこんな「つながり」を増やしていきたいものです。



いちょうっ子の笑顔がいっぱい！

